

名古屋鉄道の高崎裕樹社長は、岐阜市出身で、岐阜市長良の岐阜グランドホテルで「中部圏の地域づくりと岐阜のまちづくり」をテーマに講演した。名鉄岐阜駅周辺の再開発構想について、「開発の優先順位はおまかづりや駅開発については、まずは神田町街区（街区）」。三つのプロックを順次連携、連動させながら開発を進めていきたい」と述べた。また、市街地全体の魅力が高まる再開発としていく決意を示した。



岐阜のまちづくりに対して思いを語った高崎裕樹社長＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル

講演は税理士法人 TACT 高井法博会計事務所（同市打越）の顧客でつくるTACT経営研究会の定時総会に続いて行われ、高井法博士との対談もあった。

「3街区連動させ開発」

岐阜駅周辺 名鉄社長が講演

中心軸に位置づけられ、トランジットモールを進めていく時に、街に開かれた開発をしたい」と述べた。また名鉄名古屋本線高架化事業に対して県、市、地元に感謝した上で「時間はかかるが、高架化に向けた良いまちづくりや駅開発につなげたい」と語った。

講演後の対談で7月末に閉店した岐阜高島屋を念頭に、「長良橋通りがにぎわいのある清住町街区については、神田町街区についても、岐阜駅周辺の再開発構想に触れる「開発の優先順位はおまかづりや駅開発については、まずは神田町街区（街区）」。三つのプロックを順次連携、連動させながら開発を進めていきたい」と述べた。また、市街地全体の魅力が高まる再開発としていく決意を示した。

講演は税理士法人 TACT 高井法博会計事務所（同市打越）の顧客でつくるTACT経営研究会の定時総会に続いて行われ、高井法博士との対談もあった。



2024年(令和6年)

8月29日(木)

焼き肉の日

発行所

岐阜新聞社

岐阜市今小町10番地
〒500-8577 (専用番号)
電話 058-264-1151 (代)